



申6号「車両検修業務の体制見直し」に関する申し入れ 団体交渉開催！①

1. 今施策の目的を明らかにすること。

組合: 施策の目的を明らかにすること。

会社: 鉄道を持続可能な運営することを目的とし、具体的にはユニット化・グループ化し業務の連携と融合を図り経営体制の強化や社員の技術向上を図っていく。

組合: 水郡線統括センターと水戸運輸区検修部門の今後の体制について明らかにすること。

会社: 2職場は気動車を扱っているため電車とは異なる。様々なことを解決しなければならないため、体制については引き続き検討中である。なお、どちらの職場も首都圏本部と兼務する。

2. 勝田車両センターの各班体制をグループ化・ユニット化し業務の融合や連携を図る目的を明らかにすること。

組合: ユニット化やグループ化を行う目的を明らかにすること。

会社: 業務分担及び体制の見直しを行うことで、フレキシブルな業務の遂行と効率的な体制を構築することを目的としている。

組合: 体制変更以降の考えを明らかにすること。

会社: いきなり経験していない業務を直ぐに対応は出来ないと考える。成長の度合いを見ながら連携を高めていきたい。定期的にフォローしていく。

3. 勝田車両センターの出面数が減少する根拠を明らかにすること。また各ユニットの具体的には体制を示すこと。

組合: 各ユニットの具体的な体制を明らかにすること。

会社: 箇所体制、出面数については業務の繁閑により柔軟に設定していることを理解していただきたい。

- 企画 ユニット 管理は変形1、交代0 一般は変形 5、交代0
- 品質保証ユニット 管理は変形0、交代0 一般は変形 10、交代0
- 保全 ユニット 管理は変形0、交代0 一般は変形 26、交代0
- 派出 ユニット 管理は変形1、交代1 一般は変形 0、交代8
検修当直交代1

組合: ユニット化により、どこが効率的に運用できるようになったのか。

会社: 連携することにより、社員の育成を図りながら、必要な時に必要な要員を確保し効率的な運用をめざしていく。

組合: 箇所体制の変更では、出面数が減少した。スリム化をめざして行ったのか。

会社: 業務の融合や連携を行った結果、スリム化ができた。今後は技術力向上や技能習得のために、OJT等で必要な教育を行う考えである。

組合: 施策実施後も検証を行い、問題が発生すれば、前広に議論すること。

会社: 今後も問題提起があれば議論していく。

安全で安心して働ける職場を実現するため、JR東労組に結集しよう！